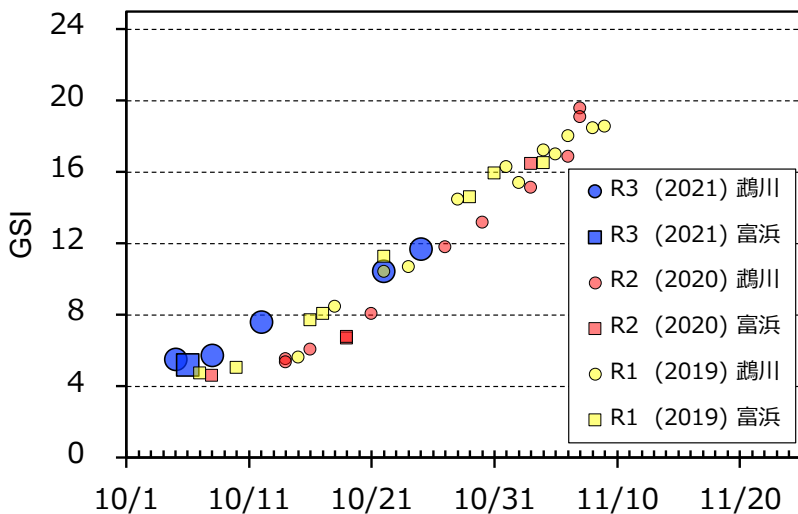


① 成熟の進行 (10/25現在)



10月25日までのメスのGSI (卵巣重量÷体重×100) の上昇は過去2年と比較すると同程度の値で推移しています。

図1 メスの生殖腺重量指数 (GSI) の変化

② 無選別標本の年齢別の体長組成

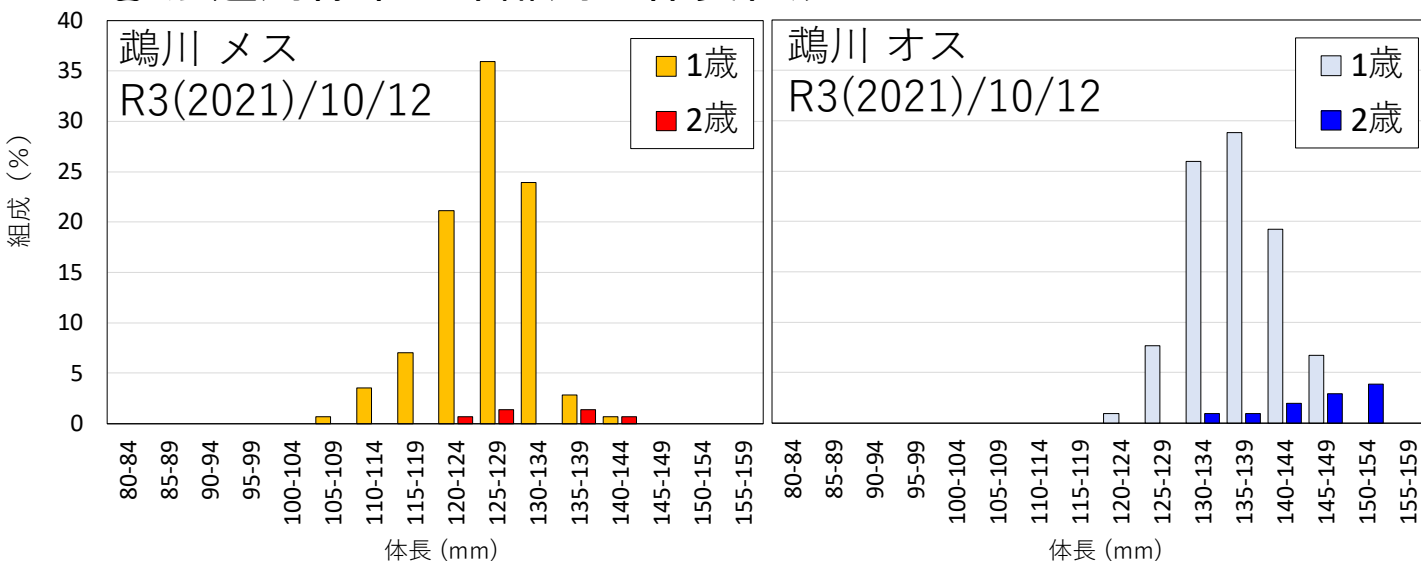


図2 シシャモ漁獲物の年齢別体長組成

(1) 耳石による年齢査定の結果、

ほとんどの個体が1歳魚 (メスの95.8%; オスの89.4%) でした。

(2) 1歳魚の中心サイズは、メスで125~129mm、オスで135~139mmでした。

③ ししゃもこぎ網漁獲状況 (10/28現在)

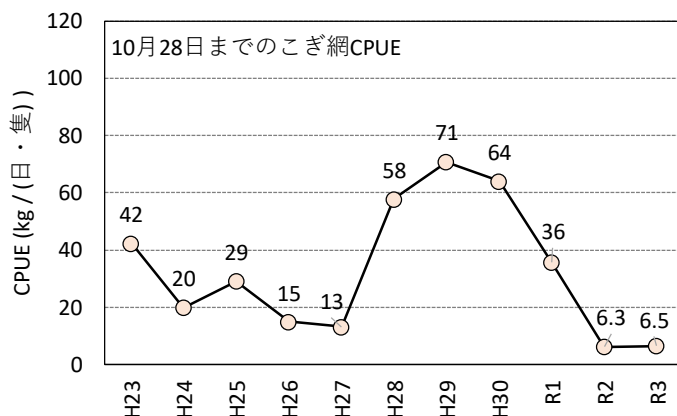
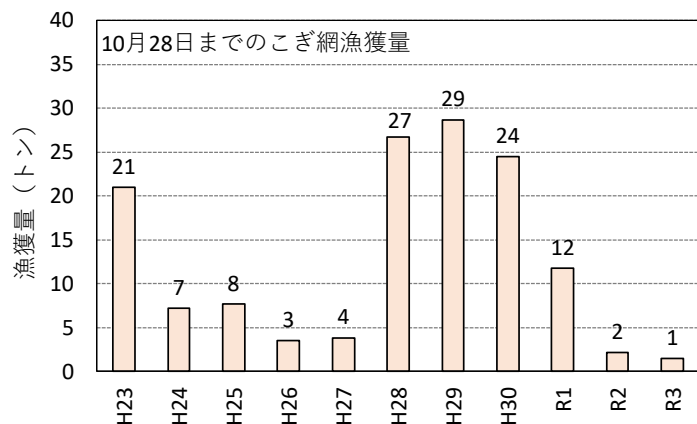


図3 胆振管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE (1日1隻あたりの漁獲量)

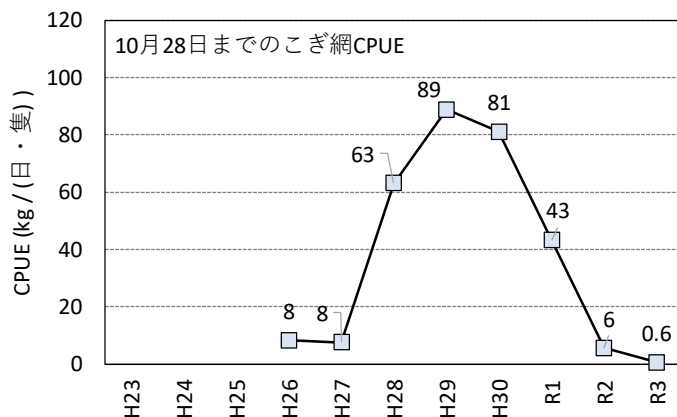
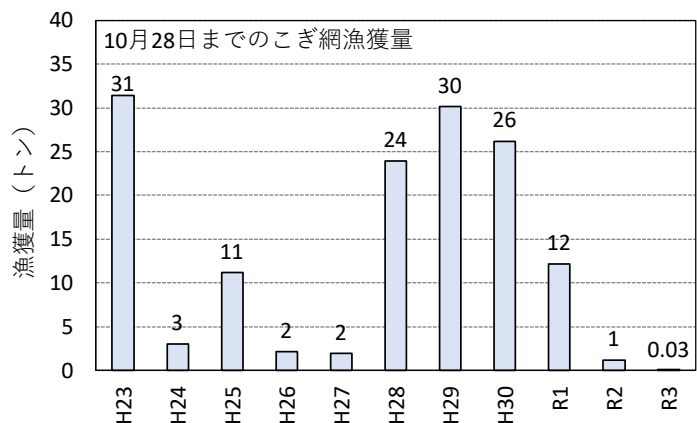


図4 日高管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE (1日1隻あたりの漁獲量)

ししゃもこぎ網漁獲量は、平成23年（2011）以降、過去最低となっています。日高管内のCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）も過去最低となっています。胆振管内のCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）は令和2年（2020）に次いで過去2番目に低い値となっています。

今年度も11月はじめに遡上予測日を発表する予定です。